

(研究成果報告書概要(和文(別紙様式15)及び英文(別紙様式16))の作成・記入方法について)

この概要は、研究成果報告書(別紙様式14)と一対となるものであり、最近の学術情報を把握する資料として極めて重要なものであること、また、大学等の研究者はもちろんのこと民間企業等の研究者からもこの研究成果についての関心が高まっていることにかんがみ、この概要をデータベース化し、国立情報学研究所において大学の研究者等に情報検索等のサービスを提供することに留意のうえ作成すること。

(1) 標題(TITLE)

年度の記入にあたっては、研究計画の最終年度を記入すること。なお、英文の場合は、()内に西暦で記入すること。

(2) 研究機関番号(RESEARCH INSTITUTION NUMBER)及び研究機関名(THE NAME OF RESEARCH INSTITUTION)

研究代表者の所属する研究機関の研究機関番号(5桁)及び研究機関名を記入すること。

(3) 研究種目等(CATEGORY)

特別推進研究(1)、基盤研究(B)(2)等の研究種目(研究(1)・(2)の別も明記する。)を記入すること。なお、英文にあっては、当該研究種目の英訳名を「V. 2[参考]各研究種目等の英訳」とおとり記入すること。

(4) 研究期間(TERM OF PROJECT)

補助金が交付された期間(年度)(英文の場合は、西暦)を記入すること。

(5) 課題番号(PROJECT NUMBER)

科学研究費補助金の交付決定一覧に記載された課題番号(8桁)を記入すること。

(6) 研究課題名(TITLE OF PROJECT)

交付申請書に記載した研究課題(英文の場合は、その英訳名)を記入すること。

(7) 研究代表者(HEAD INVESTIGATOR)

ア 補助金が交付された期間の最終年度の研究代表者1人を記入すること。

イ 研究者番号

さきに文部科学省から通知された科学研究費補助金に係る研究者固有の番号(8桁)を記入すること。

ウ 氏名(NAME)及び所属機関・所属部局、職名(INSTITUTION, DEPARTMENT, TITLE OF POSITION)

姓と名の間は、カンマ(,)で区切って記入し、所属機関・所属部局名、職名を記入すること。

(8) 研究分担者(INVESTIGATORS)

ア 研究成果報告書に記載中の研究分担者のうち、主な者を5人以内で記入すること。

イ 研究者番号及び氏名欄等には、上記に準じて記入すること。

なお、研究者番号がない研究分担者については、研究者番号を「99999999」と記入すること。

また、所属機関名については、研究代表者の所属機関と異なる場合のみ記入すること。所属部局名(略称可)、職名については必ず記入すること。

(9) 研究成果の概要(SUMMARY OF RESEARCH RESULTS)

補助金が交付された期間に行った研究によって得られた新たな知見等の成果を、交付申請書に記載した「研究目的・研究実施計画」に対応させて和文については800字以内(600字～800字)、英文については300語以内で簡潔に記載すること。また、必要に応じて、今後の研究の展開に関する計画等についても記載して差し支えない。また、文章に番号を付して整理する場合は、1. 2. 3...の番号を付し、これを更に細分する場合は(1), (2), (3)...の順に使用すること。

なお、和文については、横50字×縦12～16行でワープロ浄書したものをはり付け、複写したものを使用しても差し支えない。

本様式をもってデータ入力を行いデータベース化しているため、記載は楷書で丁寧に行うとともに、図、グラフ等文章化できないものについては、データベース化の際支障をきたすので記載できないこと。

(10) キーワード(KEY WORDS)

ここでいう「キーワード」とは、大量の研究成果情報の中から特定の研究上の問題に密接に関連する研究成果をコンピュータにより検索する際の手段として利用される語のことをいう。この欄には、当該研究課題の研究成果の内容をよく表していると思われるキーワードを8項目以内で記載すること。

なお、化学式等の使用は極力避けること。

(例)

研究課題	キーワード
ア 高温超伝導体の光電子分光による研究	(1)酸化物高温超伝導体(2)角度分解光電子分光(3)フェルミ液体
イ 筋収縮に関与する細胞内カルシウムイオン遊離機構の分子生物学的解析	(1)筋収縮(2)カルシウムイオン(3)分子生物学

(11) 研究発表(REFERENCES)(裏面)

この研究によって得られた研究成果を発表した論文(印刷中を含む。)の著者(第一著者)名、論文標題、雑誌名(大学の研究紀要等を含む。)、巻、発行年(西暦)及びページを記載すること。また、図書については、著者(第一著者)名、出版者名、書名、発行年、総ページ数を記載すること。なお、記入欄が不足する場合には、必要枚数を複写し記入のうえ糊付けすること。

(12) 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

この研究によって得られた研究成果で工業所有権(特許権、実用新案権、意匠権)を出願している場合(取得を含む)に記入すること。発明者名と権利者名が同一である場合には、権利者名の欄には、「同左」と記入すること。なお、記入欄が不足する場合には、必要枚数を複写し記入のうえ糊付けすること。

(研究経過報告書(別紙様式17)の作成・記入方法について)

この報告書は、研究成果報告書(別紙様式14)及び概要(別紙様式15, 16)を所定期日内に提出できない場合に作成すること。

(1) 「標題」

年度の記入に当たっては、補助金が交付された期間の最終年度を記入すること。

(2) 「研究機関番号」及び「研究機関名」

研究代表者の所属する研究機関の研究機関番号(5桁)及び研究機関名を記入すること。

(3) 「研究種目等」

特別推進研究(1)、基盤研究(B)(2)等の研究種目等を記入すること。

(4) 「研究機関」

補助金が交付された期間(年度)を記入すること。

(5) 「課題番号」

科学研究費補助金の交付決定一覧に記載された課題番号(8桁)を記入すること。

(6) 「研究課題名」

交付申請書に記載した研究課題を記入すること。

(7) 「研究代表者」

ア 補助金が交付された期間の最終年度の研究代表者1人を記入すること。

イ 研究者番号

さきに文部科学省から通知された科学研究費補助金に係る研究者固有の番号(8桁)を記入すること。

ウ 氏名(所属部局・職名)及び所属機関

姓と名の間は、カンマ(,)で区切る。また、所属機関・所属部局名(略称可)、職名を記入すること。

(8) 「交付決定額(配分額)」欄には、研究(1)の場合は当該研究課題の交付決定額を、研究(2)の場合は当該研究課題への配分額をそれぞれ記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。

(9) 「研究経過」

この研究によって最終年度までに得られた新たな知見等の成果を、簡潔に箇条書きにするとともに、今後の研究の展開、見通し等についても記載すること。

(10) 「研究成果報告書として取りまとめられない理由」

具体的に記入すること。

(11) 「研究成果の取りまとめ時期(予定)」

研究成果の取りまとめの予定時期を記入すること。

なお、原則として次年度中(1年以内)に取りまとめを行うこと。

(12) 「その他」

この報告書は、原則として1枚で作成すること。